

宮本武之輔最大の功績、信濃川可動堰。地元新潟県燕市とは、武之輔の功績をきっかけに現在交流が行われています。



可動堰とは.....? 十エピソード

流水をせき止めるもの。水を他へ引いたり、流量を調節できるように、動く門を持っている。川の途中に設置する。

可動堰をつくったことで、水量を調節できるようになりました。そして新潟は、今では日本の米どころとして広く知られています。なんと、この工事を取りまとめたのが、**宮本武之輔**です!!

中学生連載企画 私たちのふるさと松山学 No.5

興居島中学校



私たちは総合的な学習の時間に、国の土木技術者として全国の災害復旧や補助、河川改修の指導に奔走し偉大な功績を残した宮本武之輔について3年生でまとめました。



武之輔ズメモリエ

西暦	年齢	出来事
1892	0歳	興居島に生まれる。
		見習い船員になる。
1907	15歳	宮田兵吉の支援を受けて、錦城中学校に入学。(成績優秀のため無試験)
1910	18歳	錦城中学校を首席で卒業後、第一高等学校に入学。(成績優秀のためもちろん無試験)
1914	22歳	第一高等学校を首席で卒業後、東京帝国大学に無試験で入学。(大学も成績優秀のためやっぱり首席で卒業)
1920	28歳	結婚する。
1927	35歳	可動堰復旧工事の設計を命じられる。
1931	39歳	可動堰が完成する。
1936	44歳	「治水工学」という本を書いた。
1941	49歳	49歳で亡くなる。

興居島(現在の由良町)に生まれた宮本武之輔は家計を助けるために沿岸航路客船の少年給仕をしていました。が、向学心に燃える彼は地元元篤志家(慈善心のある人)である宮田兵吉の援助を得て上京し、東京の中学校に入学。高等学校を経て東京帝国大学土木工学科を首席で卒業しました。

内務省入省後は荒川、利根川といった日本の代表的な河川で現場責任者として改修に手腕をふるい、特に信濃川で堰が陥没した際には、復旧の責任者として尽力しました。業務の一方では、コンクリートに関する研究で工



宮本武之輔生誕地碑除幕式(平成27年4月15日)

学博士号を取得。また、これまでの河川改修などの経験と研究の成果をまとめ「治水工学」を発表しました。さらには東京大学教授として学生の指導にもあたりました。

武之輔さんへのメッセージ



前列左から、石本 真大さん、加藤 虹輝さん、杉野 祐衣さん、栗田 夢葉さん、山岡 萌美さん。後列左から、石本 雄基さん、徳丸 歌哉さん、栗原 愛実さん、谷岡 七桜さん

自分は今回宮本武之輔さんについて調べて本当にすごい人だと思いました。農民を救ったエピソードでは自分には武之輔さんのような勇気ある決断はできないと思いました。自分は武之輔さんのような勇敢な決断のある人になりたいです。石本真大

宮本武之輔さんがとても努力家であり人の役に立つことをしたということが分かりました。私も武之輔さんのように人の役に立つことをしたいです。栗原 愛実

宮本さんは昔ながらのことは自分の知識をいかしてかまわなかった。日本の米どころになるのに開かれた宮本さんには偉大な功績があると思います。僕も宮本さんのように努力して人の役に立つような仕事をしたいです。三年 石本雄基

私は、小学生のときに宮本武之輔さんについて少し調べていました。そして、今回の学習でさらに興居島の偉人について知ることができて良かったです。杉野 祐衣

僕は、興居島中学校に入学するまで宮本武之輔さんというすごい人がいるのを知らなかった。今回宮本武之輔さんについて調べて色々なことがわかりました。これからは色々な人に宮本武之輔さんかたは人かたを伝えたいです。加藤 虹輝

こんにちは宮本武之輔さん。僕は、今まで以上に興居島のことを知ることができて良かったです。栗田 夢葉

僕は小学生のころから宮本武之輔のことについて調べてきました。けんご古川さんの話を聞いてまたまた感動が湧いてきました。土木には興居島があるのを知って良かったです。徳丸 歌哉

私は、今まで宮本武之輔さんのことを知りませんでした。この学習を通して武之輔さんの生い立ちや功績を知ることができました。新居島の人口を救った武之輔さんには本当に感謝しています。谷岡 七桜

私は、今回宮本武之輔さんについて学習するまで武之輔さんがどんな偉人だったのか、よく知りませんでした。でも、武之輔さんについての話を聞いて、とても素晴らしい努力家であり、偉大な功績を残した人だということを知りました。武之輔さんは、本当に偉大な人だと思いました。山岡 萌美

先人と文化の読み物教材

「語り継ぎたいふるさと松山 百話 I・II・III」



第I巻に宮本武之輔を収録

松山の先人や文化に関する心に響くエピソードをまとめた教材集です。一話が10~14ページ程度で、気軽に松山ゆかりの先人の足跡や文化に親しむことができ、市立図書館で見ることができます。

※古川さんの話=同校で行われた、「宮本武之輔を偲び顕彰する会」古川副会長の講話